

Fuji Champion Race Series Round 3

Super FJ
Round 3

シリーズ折り返し地点を迎えたS-FJは今回で第3戦。予選トップタイムで久々のポールポジションを決めたのは22 150WMユニルオパール10V 赤堀憲臣 1'52.212。隣には18 ZAPSPEED・ED 飯嶋郁陽が並ぶ。決勝ではスタートからトップを守る22赤堀がドライブスルーペナルティで最後尾まで順位を落としてしまう中、18飯嶋と19 ZAPSPEED 10V ED 小松圭祐のトップ争い、4周目に19小松が前に出るものの最終ラップまでコンマ差の争いが続くが、最終ラップで18飯嶋は痛恨のスピン。優勝は19小松、2位に20 ZAPオミッターズ10V ED 加納亨介、3位に36 アルビGIA玉三郎10V ED 深村匠という結果となった。19小松は「昨日から速さが足りなくて苦戦していました。スリップについて行く方法で、あとはミスをしないようにすべてを考えながら走りました。タイヤも使い切ってしまう後半は大変でした。ファステストラップを取れなくて悔しいです」と話していた。

RESULT リザルト Super FJ

Rank No.	Name
1	19 小松 圭祐
2	20 加納 亨介
3	36 深村 匠
4	25 鶴若 昂
5	2 安部 哲
6	22 赤堀 憲臣

ROADSTER CUP NC/DEMIO RACE/8Beat
Round 2

第2戦を迎えたこのカテゴリー、予選でトップだったのは8Beat JP-2S 99 プロコンポジットBLITZ86 えぐらさとし 2'18.256。フロントローにはNCオープンクラスのド☆ライダーロードスターアクレ 菊池聡が2'18.261で並ぶ。デミオのトップは34 TR-Factoryデミオ 常盤岳史で2'28,774。予選・決勝とも小雨模様でウェットコンディションの中のレースとなった。決勝では序盤は上位陣の激しいトップ争いが続き、3周目に8 Beat JP-3S 77 クラパンNゼロ86 佐藤圭がトップに立つも4周目には99 えぐらが取り返し、8週のレースを逃げ切った。各クラス優勝はNCチャレンジ 71 クロハチ☆ED☆ロードスター 登坂紀、NCオープンは8 菊池、デミオは34常盤、8 Beat JP-2S 99 えぐら、JP-3S 77 佐藤という結果となった。99えぐらは「10年ぶりくらいのレース、公式戦に出て勝てて嬉しい！」と話し、デミオ34 常盤は「初優勝！タナボタだとは思っていますが、西山さんに近づいてきていて、とても嬉しい」と話していた



RESULT リザルト NC-O

Rank No.	Name
1	8 菊池 聡
2	16 横山 護
3	64 芝本 淳
4	7 高橋 裕史
5	25 橋川 学



RESULT リザルト NC-C

Rank No.	Name
1	71 登坂 紀
2	70 内海 利明
3	18 らんまん
4	22 中桐 孝治



RESULT リザルト DEMIO RACE

Rank No.	Name
1	34 常盤 岳史
2	75 西山 隆
3	55 町田 亜矢
4	21 新井 敏克
5	51 戸田 和彦
6	5 里見 景一



RESULT リザルト 8Beat 2S

Rank No.	Name
1	99 えぐら さとし
2	05 稲田 昌文
3	08 AKKY
4	14 石井 尚顕

RESULT リザルト 8Beat 3S

Rank No.	Name
1	77 佐藤 圭
2	6 坂本 猛彦
3	88 井上 欣也
4	1 木幡 修一郎

FCR-F Round 1



RESULT リザルト FCR-F

Rank No.	Name
1	24 柴田 隆之介
2	27 乾 博貴
3	72 金井 亮忠
4	0 渡邊 義人
5	99 河野 裕一
6	33 武居 義隆

今回が第1戦となるFCR-Fレース。曇り空のドライ路面で行なわれた土曜日に予選・決勝となっている。予選でトップタイムを出したのは19 Sウィング☆ハンマーバリュー ハンマー伊澤 1'45.228のタイム、フロントローには27 ホンダB18C 乾博貴が1'45.568で並ぶ。決勝レースではオープニングラップをトップで戻ってきたのは4番手スタートのチームNATS・正義056の金井亮忠、その後も激しいトップ争いが続きレース中盤には、6番手からじわじわ追い上げてきていた24 West006ダブルエース 柴田隆之介がトップの座を奪い12週のレースは24柴田がトップチェッカーを受けた。2位には27 乾、3位に72金井という結果となった。レース後、柴田は「運が良かったの一言です。トラブルもなくレースができたので、チームとメカニックには本当に感謝しています」と喜びのコメント。

86& BRZ/AE86/MR2/NA1600/SILVIA-180 Round 2



RESULT リザルト 86&BRZ

Rank No.	Name
1	23 前川 佳紀
2	77 山内 正義
3	54 浅野 哲夫
4	47 落合 立成
5	51 夏野 愛子
6	55 竹内 浩典



RESULT リザルト AE86

Rank No.	Name
1	240 山口 崇
2	36 大石 重之
3	40 柳本 文彦
4	48 深沢 泰司
5	41 中村 徹
6	86 萩野 貴司



RESULT リザルト NA1600

Rank No.	Name
1	99 竹内 秀伸
2	31 高橋 賢一
3	37 秋元 優範
4	64 矢島 篤



RESULT リザルト MR2

Rank No.	Name
1	3 土取 謙太郎
2	34 奥田 達矢
3	78 谷田 伸行
4	25 藤永 雅彦



RESULT リザルト SILVIA-180

Rank No.	Name
1	15 山崎 浩明
2	11 大山 雅樹

N-ONE OWNER'S CUP Round 4



北はSUGOから南はオートポリスまで、全国のサーキットを転戦し、全9戦+ファイナルで行なわれるN-ONEシリーズ。今回の富士が第4戦となる。予選トップは35 ドットシーVBOX N-ONE 原田健太 2'33.864のタイム。2番手には336 KOTA-R N-ONE 吉田綜一郎の2'34.182となる。決勝はスタート直後から上位陣のデットヒートが続き、コース幅の広い富士では各所で4台が横並びになるといった迫力の展開。7週のレースは上位4台がコンマ差、その直後でも激しい争いが終始続き、最初にチェッカーを受けたのは336吉田だったが、終了後に40秒加算のペナルティを受け、優勝は35 原田、2位には75 SPMレイハートμ★N-ONE 松本恭典、3位に36 DLヌヴォラーリ★N-ONE 阿久津敏寿という結果となった。35原田は「レース初優勝で嬉しいです。富士は今までストレートが長くて苦手だったのですが、これで好きになりました」とコメント

RESULT リザルト GT-R

Rank No.	Name
1	35 原田 健太
2	75 松本 恭典
3	36 阿久津 敏寿
4	38 岩間 浩一
5	390 坂井 拓斗
6	551 藤井 智大

Porsche GT3 Cup Challenge Japan 2015 Round 5&6



ポルシェGT3カップ第5・6戦、今回は日曜日に予選・決勝が2レースで行われるスケジュール。土曜の予選でポールポジションのタイムを出したのはCup I クラス86 SUNRISE GT3 CUP 福田幸平 1'58.791のタイム。フロントローには12 雷神997GT3CUP Aquira Stanleyが1'59,062で並ぶ。第5戦決勝はスタート時に雨がどんどん酷くなり、2周セーフティーカーの先導で3周目にレースが開始された。悪天候の中、激しいトップ争いが続きラスト2周で前に出たのは12 Aquira Atankey、そのまま逃げ切って優勝。Cup II は44 DSP GT3 Cup 島下泰久、Openは99 SKAD 996GT3RSR 佐野新世。第6戦が始まる時には雨もそれほど落ちてこなくなり10週のレースがスタートする。ポールから12 Aquira Stanleyが徐々に2位との差を広げて、今シーズン4勝目のチェッカーを受けた。Cup II は76 Shouei997Cup 松本隆行、Openは99 佐野の優勝となった。

Rd.5



RESULT リザルト Cup I

Rank No.	Name
1	12 Aquira Stanley
2	86 福田 幸平
3	77 MUSASHI
4	84 Masa TAGA
5	22 小山 雅也
6	32 永井 秀貴

RESULT リザルト Cup II

Rank No.	Name
1	44 島下 泰久
2	76 松本 隆行

RESULT リザルト Open

Rank No.	Name
1	99 佐野 新世

RESULT リザルト Cup I

Rank No.	Name
1	12 Aquira Stanley
2	86 福田 幸平
3	32 永井 秀貴
4	22 小山 雅也
5	84 Masa TAGA
6	77 MUSASHI

RESULT リザルト Cup II

Rank No.	Name
1	76 松本 隆行
2	44 島下 泰久

RESULT リザルト Open

Rank No.	Name
1	99 佐野 新世

Rd.6



Lamborghini Blancpain Super Trofeo

Asia Series 2015

Round 1



ランボルギーニ ブランパン スーパートロフィオのアジアシリーズは全5戦2レースずつアジア各国を回り、ファイナルがアメリカのセブリンで行なわれる。今回の富士が開幕戦となっている。開幕戦のRace1、予選でトップタイムだったのは37 PROクラスの Davide Rizzo 1'39.954。引き続き行なわれたRace2のグリッドを決める予選でも37 Davide Rizzoが1'40.485で土日ともポールポジションからのスタートと決まった。土曜日に行なわれたRace1の決勝ではオープニングラップで3番手スタートの88 Pro-AMクラス H.Akagi/K.Hiramine組がトップに立つがレース中盤になって33 Proクラス Afiq Yazidがトップになり、50分間のレースをトップチェッカーで終了した。日曜に行なわれたRace2では前半は37 Davide Rozzoが押さえていたが5番手から追いつけていた24 Pro-Am D.Malagamuwa/A.Ebrahimとのトップ争い。レース後半でトップに立った24に背後からは23Pro-Am Yudai Uchidaがコンマ差まで追いつけたが24がトップチェッカーを受けた。

Race 1



Over All



RESULT リザルト

Rank No.	Class	C/R	Name
1	33 PRO	1	Afiq Yazid
2	37 PRO	2	Davide Rizzo
3	96 PRO-AM	1	L.Chao/Z.Sheng
4	12 PRO-AM	2	Toshiyuki Ochiai
5	39 AM	1	A.Mizutani/H.Noma
6	24 PRO-AM	3	D.Malagamuwa/A.Ebrahim
7	88 PRO-AM	4	H.Akagi/K.Hiramine
8	23 PRO-AM	5	Yudai Uchida
9	68 AM	2	M.Choi/K.Chan
10	77 AM	3	H.Takeji/S.Furuta
11	6 AM	4	Omaccha9/Y.Hayashi
12	36 AM	5	S.Lok/ W.Lee
13	71 GALLARDO	1	Supachai Weeraborwong



Race 2



Over All



RESULT リザルト

Rank No.	Class	C/R	Name
1	24 PRO-AM	1	D.Malagamuwa/A.Ebrahim
2	23 PRO-AM	2	Yudai Uchida
3	37 PRO	1	Davide Rizzo
4	8 PRO-AM	3	Yuan Bo
5	12 PRO-AM	4	Toshiyuki Ochiai
6	33 PRO-AM	5	T.Wong/A.Yazid
7	28 PRO-AM	6	Smart Tse
8	96 PRO-AM	7	L.Chao/Z.Sheng
9	88 PRO-AM	8	H.Akagi/K.Hiramine
10	68 AM	1	M.Choi/K.Chan
11	39 AM	2	A.Mizutani/H.Noma
12	7 AM	3	Takeshi Kimura
13	77 AM	4	H.Takeji/S.Furuta
14	6 AM	5	Omaccha9/Y.Hayashi
15	36 AM	6	S.Lok/ W.Lee
16	71 GALLARDO	1	Supachai Weeraborwong

